北村成美 Shigemi KITAMURA

通称、なにわのコリオグラファーしげやん。「生きる喜びと痛みを謳歌するたくましいダンス」をモットーに国内外でソロダンス作品を上演するほか、日本各地で市民参加による大型コミュニティダンス作品を発表。小・中・高校・特別支援学校・福祉施設はもちろん、ショッピングモール、ご家庭の居間、廃屋、電車、海、山、いつでもどこでもどなたとでも踊ることをライフワークとし、滋賀では障がいのある人とない人が共に舞台をつくる「湖南ダンスカンパニー」にてディレクターを歴任。劇団やダンスカンパニーへの振付、音楽家や美術家との共同製作、CM振付や映像作品など数多く取り組む。

ホームページ　http://www.shigeyan.com/
連絡先(担当)　北村成美
電　　話　080-9476-7397
E-mail　shige@shigeyan.com
在住地　滋賀県草津市
出身地　大阪府大阪市

Photo:Nobuo Onishi

活動歴・受賞歴

〈2000年～現在〉ソロ活動開始。ひとりレビュー作品「i.d.」を発表し、年間30ステージ上演を達成。1週間1人で踊り続ける「ダンスマラソン」やご家庭の居間で踊る「ダンスアットホーム」などの自主企画を開始。国内外のフェスティバルやツアーに参加。夏びわ子(滋賀)、海ぶどうナツ子(沖縄)などのご当地水着アイドルシリーズ、歌謡曲インプロ集団「しげメイツ」がバックダンサーをつとめるカラオケダンス大会を開催。
〈2004年～現在〉滋賀県湖南県域にて知的障がいのある人とない人が共に舞台をつくる「湖南ダンスカンパニー」ディレクターを歴任。
〈2006年～現在〉岐阜県多治見市文化会館、鹿児島県徳之島町文化会館にてダンス活性化事業を実施。広島県はつかいち文化ホールさくらぴあ、山口県クリエイティブ・スペース赤れんが、兵庫県西宮市甲東ホール、大阪府箕面市立メイプルホール、大阪府八尾市文化会館プリズムホールにてダンス活動支援事業を実施。
〈2009年～現在〉「別府現代芸術フェスティバル混浴温泉世界」に3回連続参加。以降毎年、大分別府にて滞在製作を重ね、別府八湯温泉祭り「にわか隊長」、「地獄の妖精ゴールデンしげアフロ」として活動。
〈2009年～現在〉子どものための作品「くるみ割り（風）人形と二十日（ぐらい）ねずみの大運動会☆キャー!!」を、びわ湖ホール（2009年）、岡山県現代舞踊連盟（2012年）、パフォーマンスキッズトーキョー（2013年）、高崎市NPO法人バレエノア（2014年）にて上演。
〈2013年〉滋賀県草津市にて50日間の街頭ワークショップを経て市民178人が出演した「おどりあるきあそぶ・草津ダンス街道」主催。八戸・南郷アートプロジェクト「Dance×Jazz vol.2」「映画つくろう!ハトダンス大作戦」振付、出演。北九州芸術劇場ダンスダイヴウィーク「夕暮れダンス」シリーズ「赤シャツダンサーズ」の活動開始。
〈2016年〉Mugi Dance Project（アジア４カ国のアーティストによる共同製作）、びわ湖ホール「BON★ダンス大会」、「三陸国際芸術祭」にて振付・出演。「踊りに行くぜII vol.7」仙台公演にて「黒鶏-kokkei-」発表。
〈2017年〉湖南ダンスカンパニー初の海外公演「ジャパン×ナントプロジェクト2017」参加。
〈2019年〉湖南ダンスカンパニー「ジャポニズム2018」参加。（パリ日本文化会館にて公演）
〈2020年〉自粛生活100日間連続ダンス動画配信「しげやんと踊ろう!!」実施。湖南ダンスカンパニー「音と身体で綴る叙情詩～湖（うみ）」びわ湖ホールにて公演。
岡山芸術創造劇場プレ事業「わが町ミュージカル」振付担当。
〈2021〉おおいた障がい者芸術文化支援センター創作ワークショップin OPAM「宇宙まで届け!生きるチカラ、私のダンス」振付、出演。
〈2022〉くにたちオペラ「あの町は今日もお祭り」（原作:多和田葉子）、六甲ミーツアート2022「ROKKOSAN BON-ODORI」、岡山芸術創造劇場開館1年前カウントダウン「劇場へ行こう!」振付、出演。

○受賞歴
平成15年度大阪舞台芸術新人賞
平成22年度滋賀県文化奨励賞

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

しげやんの飛び込みダンスパーティー!!

ご当地のサークルや様々な活動グループを訪問させて頂き、そのメンバーさんおひとりおひとりとお話しながらデュオを踊り、最後は全員でひとつになって踊ります。伝統芸能の集まり、子育てサークル、ご高齢の方や障がいのある方たちのデイサービス施設、日本語教室、少年野球チーム、お昼休みの工場や会社など、様々なグループに飛び込み、あらゆる方たちとおどる場を広げていきたいと考えています。

公募ワークショップ

だれでもコリオグラファー（振付家）!!ダンスをつくりおどるワークショップ

言葉での説明ではなく、声やアイコンタクト、身振り手振りなどで進行していきます。まず北村が踊り、参加者さんには反応もしくは同調してもらいます。その動きを北村が真似し、さらにそれを参加者さんに真似してもらいます。そんなキャッチボールを繰り返すうちに、関係性をつくり、ダンスをつくります。こうして出来たダンスを、どこでどんな風に踊るかを話し合い、アレンジし、最後に発表をします。

◎実施条件（共通）

▶参加人数：5～100名までOK！（最適人数は20名です。）▶アシスタント：1名希望します。▶必要機材：CD、iPodが再生できる機材。小中学校の場合はワイヤレスマイクが必要です。▶対象：年齢・性別・障がいの有無を問わず、どなたでも。▶場所：ご家庭の居間からグラウンドまで、どこでも。▶その他条件：感染予防対策をダンス開始のお清めの儀式としてショーアップする振付や、オンラインならではの演出での作品づくりなど、現場のみなさまとご相談しながら、難問をも新しい表現に変えていけるクリエーションをしたいと思います。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

ソロ作品２本立てに劇場外（ロビーや屋外）での小品を組み合わせたツアー形式の公演

（例：おむかえダンスー作品１ー休憩ダンスー作品２ーお見送りダンス）

本舞台でのソロ作品は、20～30分のもの『i.d.』、『ラベンダー』、『うたげうた』などのレパートリーから選んで頂きます。ホールの条件やご要望によっては、レパートリーをその現場に合わせた演出に変えて上演いたします。

▶上演時間：例のプランで約90分

市民参加作品

地元のみなさんと一緒につくるご当地自慢ダンス公演

参加者の方は、「こども」「おとな」「大先輩」「親子」など、経験や障がいの有無を問わず、あらゆる方を対象にすることが可能です。

▶上演時間：90～120分

◎実施条件（共通）

▶必要なスタッフ：舞台監督、照明、音響スタッフ（現地スタッフで可能）、劇場外パフォーマンスにかかるツアーコンダクター役（現地ボランティアスタッフで可能）

※基本的にテクニカルスタッフについては、現地の方との共同作業を希望します。また、現地のご要望により、オリジナル照明プランの提出、照明スタッフの同行も可能です。

▶ソロの場合の共演者の有無：『i.d.』を上演する場合は、共演者（影絵ダンサー）1名の同行を希望します。

▶上演環境：本舞台での上演の場合は、通常の照明・音響設備とリノリウムが必要です。劇場外パフォーマンスでは、敷地内でご相談に応じます。ご要望により、屋外やロビーでの本公演も可能です。

※ワークショップや公演のタイトルは、あくまでも一例です。事業ごとに、主催者さんや地元のみなさまのニーズをお伺いして、ご相談の上、決めさせてもらっていますので、何でもご相談下さい。